

令和5年度

立江小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用する力の育成
- 学びを生活につなぎ、主体的に学習に向かう児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
古田玲子(教諭)	校長:高原俊英 教頭:瀬野俊恵 教務主任:森本千寿子 研修主任:横山利恵

校長

高原 俊英



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識技能は、定着している。 ●「書くこと」の基本的な力が十分ではない。	・単元テストや漢字テストでクラス平均85点以上取ることができる。 ・「読解力」や「書く」問題に慣れ、問題の意図をつかむことができる。	・再テストなどを行うことによって、自分が間違えた問題を意識することができるようにする。 ・スキルアップタイムなどで、「要約」「長文読解」など一つの学習課題を繰り返し連続して行うことにより、問題に「慣れる」「解ける」「楽しむ」と段階を踏んでいけるように工夫する。	・再テストをする時間がなかなか取れない。間違えた所を自主勉強でもう一度解くようにする。 ・学力や時間に合った問題を見つけてくるのが難しい。計画的に見直しをもって取り組んでいくようにする。	・単元テストや漢字テストで、ほとんどの学年で平均85点以上取ることができた。 ・スキルアップタイムで長文読解の問題をしてきたので、問題に慣れてきている。しかし、読解力が身についた児童と、身につけていない児童の二極化が顕著になった。	・単元テスト・漢字テスト・再テストは、継続して行い、自分の間違えた所を見直す時間をしっかり取ることができるようにする。 ・児童の力にあった課題ができるよう、何種類か課題を用意し、自分で選んで学習できるようにする。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●週に1時間以上読書をしている児童が46%で、全体的に読書時間が少ない。	・自分の気持ちや考えを伝え合う楽しさを実感する。 ・週に1時間以上読書をする。	・2人組・グループなど少人数から伝え合う場面を授業に取り入れる。 ・毎週土日の宿題に読書をしたり、学年だよりで、クラスの読書状況や読書のよさを伝えたりする。	・グループでの話し合いがスムーズにいくよう、児童に話し合いの仕方を指導する。 ・図書委員会でも読み聞かせや図書クイズを出し、読書のよさを伝えていくようにする。	・グループでの話し合いをあまり授業に取り入れることができなかった。また、当てられると発表をするが、自分から積極的に発表することが少ない。 ・学校では、休み時間などに読書をよくしているが、家では「61%の家庭が読書をしていない。」とアンケート結果に出てきた。	・全員発表することを基本とし、書いた物を読むことから始めることにより、発表することに抵抗をなくす。 ・読書カードに保護者の人の感想欄を作ったり、保護者の人に読み聞かせを聞いてもらったりする。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組む、できるまで努力することができる。 ●自分から課題を見つけ、よりよくしようとする能動性・主体性に欠ける。	・自主勉ノートを仕上げていく過程を通して、学ぶ楽しさを実感する。 ・生活面・学習面で、主体的に活動することができる。	・工夫している自主勉ノートを展示することにより、よい自主勉ノートの書き方や内容を知ることができるようにする。 ・縦割り班の活動や係活動で、児童からの意見を取り入れ、主体的に活動できる場をつくる。	・友達のノートを紹介したり、取り組みやすい自主勉の内容を紹介し、意欲付けをする。 ・各委員会では『人とのふれあい・キズナ』をテーマに集会活動をしてきた。児童が主体的に活動できている。	・進んで家庭学習をする児童が増えてきたが、まだ十分ではない。 ・各委員会では、自分達で考えた活動や集会でのゲームをすることにより、よりよいものにしてようとする意欲につながった。	・全学年を通して、優れた自主勉ノートを紹介するコーナーを作り、意欲付けをする。 ・感想を伝え合う場を設けることで、達成感や発言力を高める。 ・進んで発表したくなるような教材・教具の工夫をする。

令和5年度 学力向上ロードマップ

